

第40回 区民車座集会（宮前区）

～子どもや若い世代が住み続けたい“ふるさと宮前区”を創る～

日時：平成30年11月18日（日）14:00～16:00

会場：セレスモス宮前 モスピーホール

～ 次 第 ～

1. 開会

- ・市長挨拶
- ・本日の進め方、テーマ説明、事例発表者紹介

2. 事例発表と意見交換

子どもや若い世代と地域をつなぐ活動事例

- (1) まちを楽しむ まちかど×マルシェ（宮前まち倶楽部）
- (2) みんなで支えるつながる こども食堂の活動（アリーノ）
- (3) 子どもたちがまちと出会う・つながる（じもたん kids）
- (4) 学生・アスリートがまちを元気に（NPO ファンズアスリートクラブ）

- ・地域住民・事業者・区役所による協働・連携の取組例の紹介
市営高山団地における住民主体の出張販売会（宮前区役所企画課）

3. 全体意見交換

子どもや若い世代と地域をつなぐアイデアについての意見交換

4. 閉会

アンケート回収、参加者記念撮影

◆16:10～16:40 交流会（同会場にて）

- ・参加者・事例発表者・傍聴者の皆さんで語りましょう。
- ・お茶をご用意しますので、お時間よろしければ、ぜひご参加ください。

まちを楽しむ まちかど×マルシェ

宮前まち倶楽部 代表 辻 麻里子さん

「宮前区のなかにたくさんある、まちを楽しむ資源＝ヒト、場所、コト＝をみんなの見える場所にたくさん集めてみよう！」というのが、このまちかど×マルシェという活動です。だから、活動場所は、公園や駅前といった、たくさんの人が行きかう場所。

マルシェに参加している人たちはさまざまです。ハンドメイド作品をたくさん作っている子育て中のママや子育て終了ママたち、子育て目線で写真を撮ってくれるカメラマンママたち、癒しのためのリラクゼーション効果抜群のスキルを持つママたち、美味しいパンやお菓子を作ってくれる料理名人、美味しい野菜や果物を生産している農家さんたち、絵本の読み聞かせで子供たちを楽しませてくれる人たち、子育て・介護・相続などの相談にのってくれる経験豊富なママたち。

まちなかでいろんな人に出会うことで、マルシェを訪れる人たちは、自分たちもやってみよう、やってみたいという気にもなるようです。そんなきっかけづくりの場にもなっています。



↑ 公園での
マルシェの様子

鷺沼駅前でのマルシェの様子

今回のテーマに寄せて・・・

子どもや若い世代は忙しい世代です。そんな世代の多くが宮前区を、楽しい場所から「帰る」場所にしているのがとても惜しい気がします。自分の住んでいるまちも、楽しい場所で、楽しい人達がたくさんいて、そんなみんなと一緒に地域を作っていきたい、そんなふう子どもや若い世代が思えるような、そんなまちづくりができるといいなと思います。

宮前まち倶楽部 HP : <https://machi-club.net/> メール : info@machi-club.net

みんなで支えるつながる こども食堂

アリーノ（有馬・野川生涯学習支援施設）館長 山口 定男さん

「アリーノこども食堂」は、仕事などで食事を用意する時間がないご家庭や、ひとりで食べることが多いお子様が気軽に訪れて、みんなで一緒に夕食を食べることができる場です。地域のボランティアさんたちが一生懸命手作りした温かいご飯を提供しています。

月2回、木曜日の夜、保育園や学童のお迎えからそのまま来る親子、きょうだい仲良く手をつないで来る子どもたちが、「今日の献立は何かな〜」とにぎやかに訪れます。準備の都合上、事前予約制となっていますが、50人分の予約はすぐに埋まってしまいます。

食堂を始めて2年近くなりますが、おかげ様で、近所の農家さんが果物や野菜を差し入れてくれたり、事業者さんから食材提供していただいたり、食堂を支える人たちの輪が広がっています。



今回のテーマに寄せて・・・

親子で参加できるイベントを通じて、話題や悩みなどを共有し地域で子育て支援ができればと思います。そのためには、地域で交流できる（気軽に集える）場を提供することだと考えます。例えば、祭り、フェスタなど家族参加型のイベントを通じて、地域のふるさと化につなげたいです。

アリーノ（有馬・野川生涯学習支援施設） TEL：044-853-3737 担当：山口、松永

子どもたちがまちと出会う・つながる

じもたん kids 代表 中田 真由美さん

2014年にスタート。川崎市宮前区の小学生が地元の働く人取材し、記事を書き、新聞や「宮前の働く人事典」という冊子を作っています。取材をきっかけに、

- ・子ども達が、身近なことから、世の中のことに関心を持ってほしい
- ・子ども達が、地域に気軽にあいさつしあえる大人の友達をたくさん作ってほしい
- ・子ども達の記事をきっかけに、地域で大人のコミュニケーションの輪も広がってほしい

そんな願いを込めて活動しています。

また、年に一度、じもたん kids とそのファミリー、そしてこれまでの取材先の方々が集う会「納涼祭」を開催しています。老若男女問わず、地域の人達が“取材”のご縁をきっかけに、コミュニケーションの輪が広がる場になっています。



取材の様子



納涼祭の様子 →



今回のテーマに寄せて・・・

じもたん kids の活動では、子ども達が“取材”という名目で、取材相手の大人と向かい合い、じっくり対話します。時間にすると、わずか数十分程度ですが、子ども達は、相手がどんな人なのかを知り、その人やそのお店、その仕事に親しみをもちようになります。必ずしも“取材”という形でなくてもよいと思いますが、地域の大人と子どもがじっくり向き合う場を作るとは、子どもや若い世代と地域をつなぐ上で、大切なことだと感じています。

じもたん kids メール：jimotankids@gmail.com

「学生・アスリート」とまちを元気に

NPO 法人ファンズアスリートクラブ 理事長 井上 秀憲さん

2013年設立の当法人では、学生・アスリートと共に「ボーダレス・スポーツ・プロジェクト」というプロジェクトを行っています。青少年育成活動や障がい者支援、高齢者の運動機会創出のほか、犬蔵・宮前平・向丘中学校区を拠点に、総合型地域スポーツクラブ（※）「ファンズスポーツクラブ宮前」を展開しています。

所属する学生は、宮前区や近隣地域に住む、日本体育大・國學院大・日本女子体育大・創価大・聖心女子大などの運動部所属の個人や、トレーナー・教職志望の大学生・大学院生が中心です。提携している部活は、日体大バーベル部・水球部、國學院大學蹴球部など。さらに、プロレス集団「HEAT UP」や市内在住のアスリートと共に、地域の絆を作っています。

地域の行事やスポーツ大会への参加、小学校や放課後での指導（夢教育21、寺子屋事業、わ



くわくと連携、総合型地域SCでの活動）、自治会・商店会への参加など、「スポーツを通じて未来と地域の絆を創る」を理念に活動しています。

※総合型地域スポーツクラブとは・・・

宮前区内には2か所あり、多種目・多世代・多志向がコンセプト。スポーツだけではなく、社会・文化活動も含めて、地域のコミュニティ活性化を目指す。



防犯スポーツプロジェクトにて



神木本町スポーツ大会にて



障がい者スポーツイベントにて

今回のテーマに寄せて・・・

地方から上京し当法人で活動している学生やアスリートにとって、この地域での活動を通して多くの住民の方々と交流することで、宮前区を「第二の故郷」と思ってもらえれば幸いです。学生にとっては、社会人になる前の育成の場として関わったこの地で今後生活したいと思ってもらえたり、里帰りする感覚で、長きに渡ってつながっていける環境を作りたいと思っています。

特定非営利活動法人ファンズアスリートクラブ TEL:070-6401-9223

HP : <http://www.funssports.com> メール : postmaster@funssports.com